



消費税増税・改憲ストップ 区民の願い、実現の区政へ

消費税増税はストップを！

安倍政権が2019年10月から消費税増税10%への増税を公表。2014年の8%増税から長引く消費不況のもと、くらし・営業がさらに深刻になると区民や区内事業者から不安の声があがっています。

消費税収の8割が法人税減税の穴埋めに消え、安倍政権は社会保障費を6年で5兆6千億円も削減し、今後さらに医療・介護など改悪・削減を予定しており、社会保障のためという口実は破たんしています。

政府のいう「軽減税率」は「8%据え置き」と「10%」の複数税率の導入で、混乱は避けられません。事業者は複数税率に対応する専用レジなど準備の経費もかかります。

災害対策は「公助」の抜本的強化を

危険なブロック塀対策の強化について、区の現制度は「ブロック塀を撤去し生け垣化する」場合しか補助されないことから、補助の幅を広げ、国・都の補助も最大活用し促進するよう求めました。また区は、避難所となる小中学校体育館へのエアコン設置を10年から7年に前倒しし完了させる見通しですが、さらに早めるべきです。加えて、避難所の環境も大切です。栄養のある良質な食事、ベッドと間仕切りの確保、トイレは清潔に保ち女性に配慮したものを充分な数設置するなど、震災関連死を



〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

招かない万全の対策を求めました。区の防災計画では自助共助が強調されていますが、公助こそ大切です。イタリアでは国が災害対応の前面に出て、震災関連死を減らしています。日本でも自治体やボランティア任せでない防災対策の強化が求められます。



決算反対討論にたつ
米沢ちひろ区議

党区議団は、大企業や富裕層への応分の負担を求めるなど税制改正に取り組むことで社会保障財源はまかなえる」と提案しています。
低所得者ほど負担が重い消費税の増税中止を強く求めました。



区の計画の
素案に意見を
寄せて下さい

練馬区は「第2次みどりの風吹くビジョン(素案)」他3つの計画の素案を公表しました。

子ども、高齢者、福祉と医療、防災、みどり、都市農業、区民協働など、区民のくらし、福祉にかかわることからの基本計画と実行計画が示されています。いずれの計画も今年度中(2019年3月)に策定されます。みなさんの意見を是非、区に寄せて下さい。

計画(素案)の名称	意見送付締切日
1 第2次ビジョン(素案)	1 / 18 (金)
2 練馬区学校施設管理実施計画	
3 (仮称)練馬区自殺対策計画	1 / 25 (金)
4 みどりの総合計画	

※意見の提出方法は持参、郵送、ファックス、電子メールです。全文は区ホームページや区民事務所、図書館などでご覧になれます。

区立図書館を守れ 委託ストップの 先頭に



区立図書館12館中9館の運営が民間事業者に委ねられています。今回、これまで区直営で運営してきた光が丘図書館を除く2館(練馬、石神井)を、新たに民間に委ねようとしています。

これまでの直営3館体制は図書館法などを踏まえ、指定管理館の指導・監督をはじめ、12館すべての蔵書管理、職員育成、選書や廃棄、レファレンス(資料の検索や調査等)など公共図書館の根幹となる役割を担い、非常勤職員として働く図書館専門員(司書)が区立図書館の質を維持してきた経緯があります。委託後の



指定管理制度の導入が狙われる練馬図書館

子どもの命を守る 保育環境の整備を

今年10月、区内の認可外保育施設でお昼寝中の乳児が死亡する事故が発生しました。認可外保育施設や企業主導型保育所への立ち入り検査では多くの施設が基準を満たしておらず、当該園でもお昼寝時の5分に1回の呼吸チェックがされていませんでした。

本来、認可外保育施設には東京都が立ち入り検査を年1回以上実施するとされています。しかし、全体の2割弱しか実施されていないことから、区として都へ検査体制の強化と指導の徹底を求めました。

今年4月1日時点で978人が保育所に申し込みながら入れず、来年10月からの保育無償化で更に希望者の増加が見込まれており、認可保育園を軸に整備目標の引き上げを求めました。区は将来、児童人口の減少を前提に今後のサービスを考えるとしていますが、区は少子化を克服するための対策こそ求められているのではないのでしょうか。



島田 拓区議が一般質問

今年4月1日時点で978人が保育所に申し込みながら入れず、来年10月からの保育無償化で更に希望者の増加が見込まれており、認可保育園を軸に整備目標の引き上げを求めました。区は将来、児童人口の減少を前提に今後のサービスを考えるとしていますが、区は少子化を克服するための対策こそ求められているのではないのでしょうか。

図書館専門員の処遇についても区から明確な言及はなく、民間委託によって区民の財産であり「知の拠点」としての図書館のサービス低下が懸念されています。党区議団は、これ以上の民間委託をストップし、直営3館体制を引き続き堅持させるために引き続き全力をあげます。

問題の多い 羽田空港増便の 説明会に ご参加ください



羽田空港機能強化についての国交省主催の説明会が下記の日程で行われます。区報でもお知らせします。

国は羽田空港の増便のため都心上空を飛行するルート計画。練馬上空も1時間最大で44便の旅客機が飛行することが計画されています。そのため住民からは騒音や落下物の問題について懸念の声が出され、飛行ルートの撤回を求める運動が各地で起こっています。ぜひ説明会に参加し、疑問に答えてもらうとともに、問題の多い計画の撤回を求めていきましょう。

石神井公園駅の 再開発の内容は？

いま、駅南口を再開発する計画が進められています。内容は、駅前に補助232号道路(幅員16m)を220mを整備し、その南北に地上7階35mのビルと、地上26階、地下2階103mの高層ビルをつくるものです。総事業費は190億円、内訳は道路(90m)に35億円、ビルに155億円です。それ以外にも街路事業(130m)に51億円かかります。また、再開発ビルの3階から5階(2530㎡)を区が買い取り、石神井庁舎の区民事務所や総合福祉事務所などの機能を移す計画です。

反対する地権者は、計画予定地に新築の自宅兼オフィスを建てており、計画が進めば、新築の家は取り壊され、お金をもらい出ていくか、開発ビルの一角に入るかを選ばされることとなります。まさに反対する地権者を追い出すような計画です。開発ビルの6階から26階までは、分譲マンションとして売りに出されますが、それ

だけでも十分利益を得られるのに、区がビルの一角を30億円で買い取り、更に45億円の税金まで出すといつのです。党区議団は、反対する地権者を追い出し、税金の使い方の点から見ても問題がある計画は撤回するように求めています。

子どもの命を守る 保育環境の整備を



今年10月、区内の認可外保育施設でお昼寝中の乳児が死亡する事故が発生しました。認可外保育施設や企業主導型保育所への立ち入り検査では多くの施設が基準を満たしておらず、当該園でもお昼寝時の5分に1回の呼吸チェックがされていませんでした。

本来、認可外保育施設には東京都が立ち入り検査を年1回以上実施するとされています。しかし、全体の2割弱しか実施されていないことから、区として都へ検査体制の強化と指導の徹底を求めました。

2018年 区議団所属委員会

のむら説



文教児童青少年委員会／総合・災害対策等特別委員会／消防団運営委員会

坂尻まさゆき



区民生活委員会／交通対策等特別委員会／財産価格審議会

やくし辰哉



環境まちづくり委員会／清掃・エネルギー等特別委員会／都市計画審議会

米沢ちひろ



副区議団長／健康福祉委員会／医療・高齢者等特別委員会／国民健康保険運営協議会／土地開発公社評議員会

有馬 豊



幹事長／議会運営委員会／企画総務委員会／総合・災害対策等特別委員会／緑化委員会／土地開発公社評議員会

島田 拓



区議団長／副幹事長／議会運営委員会／文教児童青少年委員会／医療・高齢者等特別委員会／情報公開および個人情報保護運営協議会／練馬光が丘病院運営連絡協議会